



公益社団法人

茨城県理学療法士会

Ibaraki Physical Therapy Association

第 17 回茨城県理学療法士学会を終えて

第 17 回茨城県理学療法士学会 学会長
齊藤秀之

第 17 回茨城県理学療法士学会の終了にあたり、まずはお詫び申し上げます。当日は前日からの県内全域に渡る大雪による交通障害を来し、演者、講師ならび参加予定の会員の皆様方に多大なるご心労とご苦勞、ならびに危険を強いたことになりました。前日のうちに開催あるいは中止のご案内を行わなかったことが皆様の混乱を招いたことと思います。学会長自身も前日電車に閉じ込められ、復旧の見込みが立たないなかで、連絡手段が確保できず、関係者との連絡が遮断されていました。ひとえに雪国育ちである小生自身の都市生活における認識と危険回避行動の甘さ故であり、謹んでお詫び申し上げます。こうした状況のなか、富田副学会長、倉持準備委員長は冷静かつ適切に対処いただきましたこと、田中副学会長のように、一睡もせずに学会運営に励んでくれた会員におかれましては感謝申し上げます。更にご参加いただきました演者、講師、協賛企業および参加者の皆様にも深く御礼申し上げます。

こうした皆様方のお陰をもちまして、第 17 回茨城県理学療法士学会は開始を 1 時間遅らせて実施し、大雪による事故等の報告もなく、予定していたプログラムを参加者 229 名（会員 223 名・非会員 6 名）のもと実施できました。重ねて御礼も申し上げます。当然ではありますが、演題発表では雪の影響により、10 演題が当日取り下げざるを得ない状況となりました。学会ならびに士会役員で協議し、所定の手続きにより単位認定に不利益がないように対処することになりました。当該会員におかれましては、何卒ご心配のないようお願いいたします。一方で、ほとんどの演者の皆さんがしっかりと発表され、演題座長の欠席もなく、なかには自然災害を見越して前泊されている会員も見受けられました。私は茨城県のこれからの理学療法士を誇りに思いました。経験 10 数年以下の中堅理学療法士の皆さんに向けたメッセージとした学会テーマ「2050 年に向けて理学療法士がなすべきこと」の意図を感じて頂いたのかと。こうした志のある皆様が次世代を担っているならば茨城県の理学療法士界は大丈夫だと感じました。

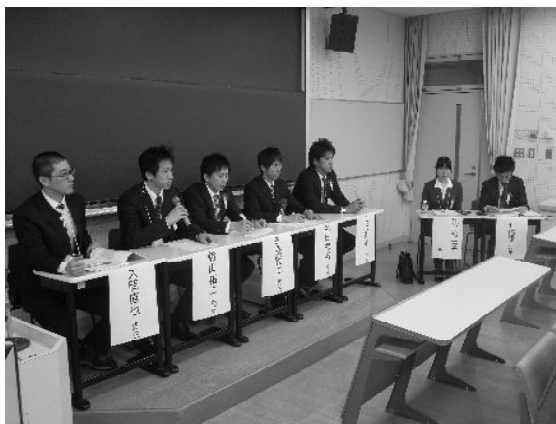
さて、今回の学会では、「学会宣言」、「学会長講演」、「特別講演」、「専門理学療法領域のシンポジウム」および「臨床工学技士会との連携シンポジウム」といった新たな企画を盛り込みました。全てを拝聴することはできませんでしたが、特別講演の伊東元氏、居村茂幸氏のメッセージは大変心を打たれました。これから理学療法士が成すべきことを示唆いただき、「まだまだすることはあるな」と、また「ガラパゴス化しちやいけないな」と深く感じた次第です。我が国の社会情勢から、「地域包括ケアシステム」が社

会保障の国策として推進されることとなります。理学療法士の専門性と社会性が問われているものです。学問を基盤とした社会実学である臨床活動が、ことさら重視されている気がしてなりません。両氏とも、「足下を強化しなければ理学療法の未来はない」というキーワードが隠されている内容であったと感じました。「理学療法」とは、「身体に障害のある者に対し、主としてその基本的動作能力の回復を図るため、治療体操その他の運動を行わせ、及び電気治療、マッサージ、温熱その他の物理的手段を加える事をいう」と理学療法士及び作業療法士法（昭和40年6月29日）第2条で定義されています。今一度、「疾患」ではなく「障害」を対象にしていること、その目的は「生理学的指標や臓器の回復」ではなく「主としてその基本的動作能力の回復を図る」こと、方法は「治療体操その他の運動と電気治療、マッサージ、温熱その他の物理的手段」であることが専門性であるという原点に回帰することが必要ではないでしょうか。また、忘れていけないのが「評価」だと思います。理学療法士の専門となる評価を行うこと、そこから根本課題分析、課題解決方法に至る一連のPDCAサイクルを回す、すなわち評価・問題点抽出と統合・目標設定・理学療法プログラム作成・指導助言を含めた理学療法実施のサイクルを回すことです。この一連のプロセスを省略することは学問を基盤としている理学療法とは言えないのではないのでしょうか。そして「活動と生活機能の向上と健康増進を促進し、社会参加を支援すること」を実現しなければ社会実学とは認められず、社会性のある領域として評価を受けないのだと思います。まさしく、「地域包括ケアシステム」で求められている理学療法士の働き方です。茨城県理学療法士会でもその活動の場として「北茨城地域自立支援センター」を設立しました。多くの会員諸氏のご協力と、県内各地での同様の取り組みをお願いしたいと思います。なぜなら、「リハビリテーション料としての単位制」、「疾患別リハ」、「回復期リハビリテーション病棟」、「介護保険制度」など、この10数年の制度に指向せざるえない理学療法士の働き方を再考（再興）する絶好の機会が目の前に来ているからです。いかなる分野で従事している理学療法士も、あるいは、様々な事情で就労していない理学療法士も、「自助・互助・公助・共助」のなかで営んでいます。理学療法士がその中心に位置するためにも、オール理学療法士体制で社会の諸問題に取り組みたいものです。

さらに次期の学会長を副学会長として位置づけたことも新たな運営上で工夫をしました。学術のシンボルとするために学会は絶対的なものです。今後は、県内の専門理学療法士を中心に、独立して運営を担って頂くような機関に発展して行くことを願っています。富田副学会長はじめ専門理学療法士の皆様には次年度学会では、そうした機運を高めていただくような大会運営と開催をお願い申し上げます。

最後に、茨城県理学療法士会と皆様の今後の発展を信じて 第17回茨城県理学療法士学会長としてのご挨拶とさせていただきます。



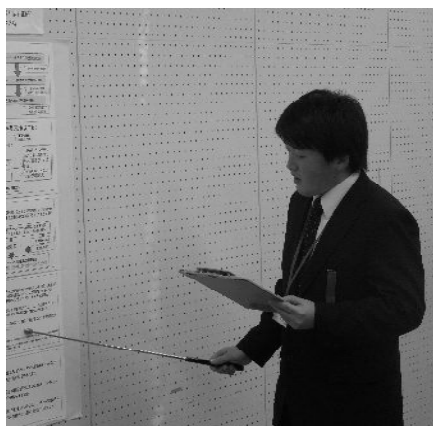


----- 目 次 -----

1. 第 17 回茨城県理学療法士学会を終えて	1
公益社団法人茨城県理学療法士会職員紹介	5
県内市町村長への渉外活動報告	6
第3回賛助会員等との意見交換会報告	7
第 17 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会印象記	8
茨城県総合リハビリテーションケア学会 2013 年度評議員会報告	8
山口かずゆき全国後援会茨城県第 1 回総会	9
第 5 回茨城県理学療法士連盟定期総会、研修会	9
平成 25 年度茨城県理学療法士会・理学療法士連盟忘年会報告	10
会長寄稿 (第 3 回)	11
2. 各部局からのお知らせ	12
3. 士会・協会主催研修会	22
4. 各種研修会等案内	25
5. 求人広告	28
6. 賛助会員広告	30

第 17 回茨城県理学療法士学会印象記

神林亮太（いちほら病院）



2月9日に茨城県立医療大学にて第17回茨城県理学療法士学会が開催され、新人症例発表をしました。前日には雪が降り、足もとの悪い中多くの方が参加していました。学会長講演「2050年に向けて理学療法士がなすべきこと」では、これからの理学療法士に求められることや心構えなど普段の臨床現場では聞くことのできない貴重な話を聞くことができました。また学会特別講演として「理学療法にあゆみとこれから」では、長年理学療法士として活躍されてきた方の話や現職の理学療法士に求めることといった話が聞け、臨床家として自ら考え、行動しなければならないと実感しました。

症例発表では普段の臨床の成果や研究結果など多くの方の発表を聞き、回復期勤務の私にとって、急性期や維持期で活躍されている方々の発表はとても新鮮なものでした。今後も理学療法士として目の前の患者様に最善の治療、知識を提供できるように臨床や研究に取り組む必要があると思いました。

第 17 回茨城県理学療法士学会 渉外部企画

社会・職能局 渉外部 直井洋明（土浦市役所）

賛助会員やリハビリ機器業者の方々と会員が活発に交流し、意見が交換できるように、企業PRの時間と、機器展示・書籍販売企業、スタンプラリーの企画を行いました。残念ながら大雪の影響で、当日は多くの企業が展示やPRを中止せざるを得ない状況となりました。

1) 企業PR

時間：13：00～14：30のセッションなど

内容：機器展示企業のPR、プレゼンテーション

参加企業：当初予定7社、当日参加2社（フィジオプラス株式会社、富士通株式会社）

2) 機器展示・書籍販売企業 スタンプラリー

時間：9：20～16：20

参加企業：当初予定12社、当日参加4社（ミナト医科学株式会社、フィジオプラス株式会社、富士通株式会社、インターリハ株式会社）



機器展示・書籍販売企業【計12社】をまわるスタン

プラリーを予定しましたが、大雪のため、参加企業が少く、規模を縮小して行いました。そのような状況の中でも、実人数35名、延べ人数76名の方の参加を得ることができました。

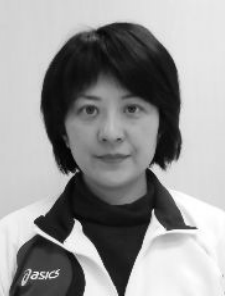
参加企業の方々からも「悪天候でしたが、多くの理学療法士の方々とお話できてよかった。」等の感想が聞かれ、当初の目的である会員と賛助会員等との交流・意見交換がある程度達成できたのではないかと思います。それにしても、当日の大雪が残念でなりません。

スタンプラリーに参加していただきました会員の皆様、ありがとうございました。

公益社団法人 茨城県理学療法士会 職員紹介

＜北茨城地域自立支援センター 理学療法士＞

鈴木和江



はじめまして、鈴木と申します。地域自立支援センターを北茨城市に立ち上げるというお話を聞き、同市出身ということもありいろいろなご縁で勤務することになりました。

この1年は、パソコンに向かってする仕事が多く、臨床の経験があまりないので、皆さんにご指導・ご協力いただきセンターの活動を行っていきたくと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味：温泉巡り 好きな言葉：日々是好日

＜水戸事務所＞

河野伸子



昨年4月から水戸にある茨城県理学療法士会事務所に勤務しております河野と申します。主に事務局の事務、会員管理の一部などを担当させていただいております。勤務を始めて間もなく1年が過ぎようとしておりますが、公益法人としてのスタート、事務所の開設と茨城県理学療法士会にとって節目となる年に立ち会うことができ、貴重な経験をさせていただきました。普段は3人で仕事をしております。皆様も是非一度お立ち寄りください。

趣味：お出かけ（近所から旅行まで） 好きな言葉：好日

荒井夏美



みなさん、はじめまして。

平成25年4月より茨城県理学療法士会の事務局で働かせていただいております荒井と申します。主に生涯学習部の補助業務を担当しております。自己研鑽のため研修会に参加される熱心な理学療法士さんの姿を見て、非常に感銘を受けております。その一助となるよう全力でサポートさせていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。

趣味：映画鑑賞（最近では『ペコロスの母に会いに行く』が良かったです）

好きな言葉：失敗は成功のもと

野口祐子



昨年の10月から事務局でお世話になることとなりました野口と申します。

主に財務関係を担当させていただいております。

勤務して数ヶ月が経ちましたが、全てのやり取りをメールで行うなどこれまでした事のない経験をさせていただいております。戸惑うことも多々ありますが、早く新しい環境に慣れお役に立てるように頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

趣味：旅行 好きな言葉：七転び八起き

県内市町村長への渉外活動報告

- 平成 26 年第 1 回合同定例会（市長会・町村長会・町村議会議長会）での説明 -

総務部 飯島弥生（つくばケアセンター）

本会会長が水戸京成ホテルで 1 月 24 日(金)に開催された「平成 26 年第 1 回合同定例会(市長会)」、および 1 月 29 日(水)に開催された「平成 26 年第 1 回合同定例会(町村長会・町村議会議長会)」にて、介護予防における理学療法士の活用方法について説明を行いました。この会に大曾根副会長とともに総務部員として同行したので会員の皆様に報告します。

この定例会は県と茨城県市長会・同町村会・同町村議会議長会が年 4 回程度、その時々々の現況と多くの課題の報告・協議を行う場です。過去に県内職能団体が会で発言した前例はなく、本会が初めてとのことでした。

実際には、長寿福祉課からの説明という枠で本会は発言しました。まず藤島保健福祉部長寿福祉課長が、茨城県における高齢化状況と介護給付費支払状況について説明され、その上で今後は予防の視点が必要であり、その観点から理学療法士会が活用できるという説明でした。それを受けて齊藤会長より以下の説明がありました。理学療法士会、理学療法士の存在と名称を会員数などの組織の紹介を織り交ぜ、機能訓練をするだけでなく、リハビリテーションの専門職として、ヒトを全人的に診ることができ、身体能力・動作障害・生活障害を評価できる職種であること、また病気や怪我をしてからの職能であるだけでなく、病気や怪我をする前の保健・予防の介護予防や、維持期の重症化予防にも寄与できる職能であること、さらに今後推測されている 85 歳以上人口が増加と生産労働年齢人口の減少のなかで、理学療法士は社会参加を最終目標にしている職種であるため、介護予防・重症化予防が高齢者・障害者等の社会参加・生産活動促進に寄与できることを強調して説明されました。最後に、北茨城市に「北茨城地域自立支援センター」を開設し、周辺地域のリハビリテーションニーズに理学療法士が対応している取り組みや、千葉県柏市の訪問リハ特区について資料を提示し、各市町村においても地域包括支援センター等への理学療法士の登用や行政施策での本会の利用を示唆し、介護予防・重症化予防、高齢者・障害者の健康寿命の延伸と社会参加の促進、および医療費・介護費の削減に役立てて欲しいとお願いしてきました。

日本理学療法士協会からも、地域包括ケアシステムの推進主体である市町村への働きかけの必要性を示唆されているところですが、今回の機会はこの活動指針に位置づけられる大変貴重な時間であったと思います。

本会としても今後は市町村からの相談・要請に対応できる土会市町村対応機能を整備するだけでなく、保健・医療・介護・福祉・教育領域で従事する会員を含めた全ての理学療法士一人一人が地域包括ケアシステムの中で求められる役割の理解とそのための人材育成が重要だと感じました。

第3回賛助会員等との意見交換会 報告

社会職能局 渉外部 直井洋明（土浦市役所）

今年度で3回目の「賛助会員等との意見交換会」を下記のように開催しました。

この会を通して、賛助会員等から、士会へのご意見・ご要望を伺い、来年度以降の事業計画の参考とすることを目的としました。当日は、賛助会員等から12社16名の方の参加を頂きました。士会からは、斉藤会長、大曾根・沼尻・金子副会長をはじめ理事・部長12名が参加、茨城県理学療法士連盟の佐藤会長や水戸近郊施設代表者にも参加していただきました。

日 時：平成26年1月24日（金）午後6時30分～8時30分

場 所：社団法人茨城県理学療法士会事務所 水戸市緑町3-5-35（茨城県保健衛生会館内）

参加者：

賛助会員 3社3名（株式会社 ロングライフ，株式会社 デベロ，株式会社 セキショウライフサポート）

リハビリ機器業者9社13名（酒井医療株式会社 千葉営業所，OG 技研株式会社千葉営業所，ミナト医科学株式会社 船橋営業所，インターリハ株式会社，伊藤超短波株式会社 関東甲信越営業所，株式会社 常磐第一興商，株式会社 富士通エフサス茨城支店，フィジオプラス株式会社，株式会社志学書店）

茨城県理学療法士会12名（斉藤会長，大曾根副会長，沼尻副会長，金子副会長，大地理事，高橋理事，直井理事，黒澤監事，高橋部長，森田部長，所部長，國谷委員長）

茨城県理学療法士連盟 1名（佐藤会長）、水戸近隣施設代表者等 1名（佐藤）計30名



食事をとりながら、和やかな雰囲気で見聞交換することができました。賛助会員等からは、さまざまなお意見を頂きました。

今後も様々な形で賛助会員や協賛していただける企業のご意見を聞き、それらの意見を具体化していけるような方策を考えていきたいと思っております。

第 17 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会印象記

赤井広彬（鉾田病院）

2013 年 12 月 1 日に茨城県メディカルセンターにて「地域包括ケアシステムと多職種協働」というメインテーマのもと、第 17 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会が開催されました。基調講演では小倉リハビリテーション病院名誉院長の浜村明徳先生に「地域包括ケアと地域リハビリテーション」のタイトルで講演して頂きました。耳にしたことはあったけれど内容をうまく咀嚼できずにいた「地域リハと地域包括ケアの概念」などわかりやすく講演して頂いたことで、地域リハと地域包括ケアの考え方の共通点を見つける事ができました。地域の方々が住み慣れた地域で安全に過ごしていく為に、我々理学療法士の存在が重要であり、またその存在にしなければならないと感じました。いま、違和感も無く「地域リハビリ」という言葉を使用していますが、果たして十分に地域に対して力を発揮出来ていたでしょうか。まだまだ地域には我々が介入できることが多くあるという可能性を感じるとともに、その中で人としての関わりを大事にできるような理学療法士になっていきたいと感じました。

茨城県総合リハビリテーションケア学会 2013 年度評議員会報告

茨城県総合リハビリテーションケア学会評議員 倉持修（会田記念リハビリテーション病院）

平成 25 年 12 月 1 日、茨城県メディカルセンターにおいて茨城県総合リハビリテーションケア学会評議員会が開催されました。同評議員会では 2012 年度決算報告および 2013 年度事業経過報告があり承認事項となりました。審議事項では 2014 年度事業計画(案)として①第 18 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会②学術研修会の報告がされましたが、現段階では時期・場所・テーマは未定の状況です。各職能団体で構成される執行部組織も新たになり、平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月は理事 13 名、評議員 13 名の体制となりました。本会からは理事として斉藤秀之会長、評議員として金子哲副会長と私倉持修が本会理事の立場で選出されています。平成 26 年度より茨城県総合リハビリテーションケア学会会員は、個人会員・賛助会員・名誉会員の他、新たに団体会員を導入することになりました。現会員所属施設となる 31 病院、12 診療所、6 介護老人保健施設、8 養成校、3 訪問看護ステーションを中心に「リハビリテーションケアに関連する施設」を対象に入会案内を行います。団体会員入会金を 10,000 円、団体年会費を 10,000 円とし、団体会員以外の会員年会費はこれまで同様の入会金 3,000 円、年会費 4,000 円となっています。多数の皆様の入会をお願いします。

山口かずゆき全国後援会茨城県第1回総会

日 時 平成 25 年 12 月 15 日（日）13:00～13:30

場 所 ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

出席者 10 名（理学療法士 9 名、言語聴覚士 1 名）

内 容

はじめて山口かずゆき全国後援会茨城県支部の総会が開催された。平成 25 年度事業報告ならびに平成 26 年度事業計画、役員・組織について報告された。全国後援会においては総会が開催されていない状況とのことであるが、茨城県としては定期的に総会を開催していく意向である。



第5回茨城県理学療法士連盟定期総会

日 時 平成 25 年 12 月 15 日（日）13:30～14:00

場 所 ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

出席者 10 名（理学療法士 9 名、言語聴覚士 1 名）

内 容

県連盟会長の佐藤弘行氏と同連盟副会長の佐藤尚男氏が議長として進行された。平成 25 年度事業報告、平成 25 年度収支決算報告、平成 26 年度事業計画、平成 26 年度収支予算、平成 26 年度役員名簿について報告された。平成 26 年度役員については新役員が加わった組織編成となった。また、茨城県理学療法士会に政治参加検討特別委員会が設置されたが、どのような役割を担っていくのか、また連盟とどのように分業をしていくのか質疑が行われた。

平成 25 年度茨城県理学療法士連盟研修会

日 時 平成 25 年 12 月 15 日（日）14:30～16:00

場 所 ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

講 師 日本作業療法士連盟会長／日本作業療法士協会前会長 杉原素子 先生

テーマ 日本作業療法士連盟と政治活動について

参加者 24 名（理学療法士 20 名、作業療法士 3 名、言語聴覚士 1 名）

内 容

講師自身がライセンスを取得するまでの歴史について講義の冒頭にお話いただいた。次に、理学療法士・作業療法士法が公布施行されるまでの経緯をお話いただき、PT と OT の当時挙げられた名称の候補についてもご説明いただいた。そのひとつとして OT は職



能療法士の名称が意見としてあげられていたという。また、病期別の理学療法士と作業療法士の関わりの程度についても当時の資料をもとに解説いただいた。急性期は理学療法士の関与頻度が多く、徐々に回復が進むにつれて作業療法士の関わり程度が増すといったものであった。地域包括ケアシステムについて日本国の年齢別人口比率の資料をもとに、システム構築に向けての経緯に関して触れられた。最後に、参加者から作業療法士の需要と供給のアンバランスについてどのようなお考えをお持ちか質問があがったが、効果的な打開策については見い出せていない状況であるとのこと。しかし、作業療法士のアイデンティティについてより明確にし、広報活動をより強化していく意向とのことである。

平成 25 年度茨城県理学療法士会・理学療法士連盟忘年会報告

厚生部 中川あゆみ

平成 25 年 12 月 15 日、ホテルレイクビュー水戸において忘年会が行われました。公益社団法人になって最初の忘年会であり、理学療法士連盟との共催ということもあって、各会長、副会長の挨拶からは、今後の士会員の役割、理学療法士の在り方について特別な思いが受けて取れました。また、会員の情報交換とネットワークを拡げる場であることが忘年会の目的でしたが、例年に比べ参加人数が少なかったものの、小人数が故に会長から次世代を担う新人まで、顔と顔を合わせてじっくり話げできたことについては貴重な機会になったと思います。来年度も本土会の発展に向け、各施設の管理者の方々を中心に多くの会員に参加していただけるよう、企画、運営に努めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。



会長寄稿

理学療法士の専門職集団として
～上半期を振り返り、下半期に向け考える～

会長 斉藤秀之（筑波記念病院）

【第3回】

●2025年とそれ以降への心の準備

国は2025年に向け「地域包括ケアシステム」の構築を政策として押し進めています。今後の方向を視座する、「社会保障制度改革国民会議報告書」をぜひ一読することをお勧めします（<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kokuminkaigi/pdf/houkokusyo.pdf>）。

地域包括ケアシステムや地域リハビリテーションというと、急性期や回復期に携わっている会員には関係ないと思われる傾向がありますが、それは間違いです。ドクターヘリ、救急医療も含めた急性期病院、回復期リハビリテーション病棟（病院）も地域医療の重要な資源です。

今回の診療報酬改正では、亜急性期入院医療管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料に続き、7対1入院基本料の要件として新たに在宅復帰が組み込まれました。「これまで急性期病棟では関節拘縮や褥創が発生したとしても、回復期や亜急性期病棟で直せばよいという考えもあったかと思うが、今後はそもそも関節拘縮や褥創発生を予防し在宅復帰を目指した医療が必要だ」とくぎを刺したのです。介護老人保健施設でも在宅復帰率が評価されていることはご存知でしょうか。急性期だけ「あとはお任せ」ではアンフェアだということかもしれません。今回の診療報酬改定に反映されていることから、国の本気度は今までとは違います。取り残されないようにしましょう！急性期から生活を支える、在宅復帰を目標とする理学療法を念頭とすることは、実は当たり前のことです。当たり前のことが当たり前に行われなくなっただけなのです。急性期の理学療法士が在宅に向けた動作指導を実践し、在宅の物理的・社会的な環境調整について実践することも理学療法士の技能であり、求められている専門性です。

さて「地域ケア会議」というキーワードがこれから盛んに叫ばれると思います。簡単に表現すると、皆さんが日頃院内、事業所内で行っているカンファレンスを、地域レベルで、地域包括支援センターの主催で多施設・多職種参画のもとに行うこと、さらには市町村の政策となる提案を行う会議です。

今後、市町村、地域包括支援センターや社会福祉協議会、あるいは他施設から、皆さんへの「地域ケア会議」への出席・参加依頼が少しずつ増えていくと思います。それは皆さんに理学療法士としてのプロの意見を聞きたいためです。一方、「理学療法士は会議に来てもただ腕を組んでひと言も喋らず帰っていく」「ちんぷんかんぷんなことばかり話していく」といった批判も出ています。会議に参加して下さる方はまだしも、「声をかけてもまったく参加してくれない」といった批判の声も聞かれ、「理学療法士は呼ぶ必要がない」と残念な評価を下されても仕方ないケースも見受けられます。

理学療法士は理学療法の利益だけを遂行していても社会に評価されません。他者の利益、利用者の利益のために行動する姿勢が必要です。そうした首尾一貫した姿勢がひいては、理学療法士全体への評価につながり、利用者の重症化予防・廃用防止や介護予防につながり、急性期病院入院患者の質の向上、効率的な業務推進……につながっていくはずですが、日頃の業務として院外での間接業務までこなすのは大変だと思いますし、診療報酬体系に収載されていないので自主的な活動とならざるを得ず、管理者にも理解されにくいと思います。しかし、新しい制度は常にニーズから生まれ、専門家がそのニーズに応えることで、創り出されるものです。他分野・他領域からの「お声がかり」というニーズを決して見過ごさず、自らの施設のみならず近隣施設、土会なども広く視野に入れ、ぜひ前向きに対応される方向でご検討ください。なお、お声掛けがあった際には土会事務局にご一報下さい。

外部の会議に出るにあたっては、説明能力などのスキルも求められますが、これは日頃のカンファレンスで十分に鍛えることが可能です。カンファレンス前に当該事例の評価を見直す、理学療法士として意見を述べる、他職種の意見を聞いて考えを再構築する、カンファレンスで決まったことをしっかり実行し定時評価する。こうした取り組みを日頃から意識し、アクティブなカンファレンスを明日からぜひ実践してみてください。それでも、ご心配やお困り事があれば土会事務局にご連絡下さい。土会としての支援を検討します。

会員一人ひとりの病院・施設内から病院・施設外に向けた地域活動への参画を求めます。

2. 各部署からのお知らせ

〈平成25年度第4回業務執行理事会 議事要旨〉

総務部長 大地寛（日立製作所日立総合病院）

日時：平成26年1月24日（金）15:00～18:00

会場：茨城県理学療法士会 水戸事務所（茨城県保健衛生会館1階）

出席：斉藤秀之会長、大曾根賢一・沼尻一哉・金子哲副会長、大地寛常任理事

議長：斉藤秀之会長

1. 報告・審議事項

1. 斉藤秀之会長

（1）来年度の研修会・講習会について、今年度中に土会としての研修会・講習会の進め方についてマニュアル化を図る。今後は、地区ブロックへ研修会・講習会を分散していき、地方開催していく方向で進めていく。

2. 大曾根賢一副会長

（1）平成26年度事業計画（案）について
・平成26年度事業計画（案）のフォーマット、各事業の内容について検討。各事業の詳細内容・方針については今後も議論を重ねていくこととなった。来年度の事業計画・予算案については、次回の臨時業務執行理事会と理事会で最終調整を行っていく。

（2）平成25年度の功労賞、功績賞について〈表彰委員会〉

【功労賞 該当者】 斉藤秀之 氏、橋本貴幸 氏

【功績賞 該当者】 叫野洋一 氏、桜井哲也 氏

⇒承認

（3）事務職員就業規則（案）、旅費支給規程改正（案）の検討

⇒次回業務執行理事会とその後の理事会で審議

3. 沼尻一哉副会長

（1）圏域ブロック説明会、代表者会議への参加
今年度中に全ブロックを回り終え、今後は次年度に向けた体制作りを進めていく。各ブロックでの代表者を明確化していく。

（2）北茨城市在宅医療介護連携推進事業を現在進めている段階。

4. 金子哲副会長

（1）第52回全国学術研修大会の立候補について

平成29年度（2017年）に開催予定の全国学術研修大会へ土会として立候補するか検討。

⇒今回は立候補せず、見送り

（2）会員異動状況報告（2013年11月1日～12月31日入力）〈庶務部〉

会員数：1656名（連絡不能者30名含む）、今年度新入会員数177名（12月31日現在）

[退会3件、休会申請中1件、県外へ転出3件、県外から転入3件、新入会10件、

5. 大地寛常任理事：報告事項なし

2. 今後の開催予定

平成26年度事業計画・予算書および就業規則（案）、旅費規程改正（案）を審議するため、臨時に理事会と業務執行理事会を開催する。

・平成25年度第5回業務執行理事会

会期：平成26年2月22日（土）

会場：茨城県保健衛生会館

・平成25年度第3回理事会

会期：平成26年3月19日

会場：茨城県理学療法士会水戸事務所（茨城県保健衛生会館1階）

〈庶務部より〉

庶務部 高橋千晶（水戸済生会総合病院）

会員情報で変更がありましたら、速やかに日本理学療法士協会 Web にて届出をお願いします。
また、施設情報の変更の場合にも同様に届出が必要となりますのでよろしくお願い致します。
会員の皆様におかれましては、いま一度日本理学療法士協会 Web のマイページにて会員情報の確認をしていただき、変更がある場合はお手続きをお願いいたします。

2014年1月から入会申請、異動申請、休会申請、退会申請、復会申請、会員情報等の変更は日本理学療法士協会 Web のマイページからの手続きとなりました。

【Web 申請できない方への対応】

Web の環境がないなど、紙面申請しかできない会員の対応については、日本理学療法士協会事務局へ連絡をしてください。協会から用紙を個別にお送りします。

2.学術誌、学会誌の公開について

会員に情報公開として、関連団体より届いている学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーションを閲覧できるようになりました。

日時は限定されておりますが、ご利用ください。

公開資料	：学術誌・学会誌および各都道府県士会のインフォメーション
公開時間	：火・木（祝日除く）14:30－16:30
公開場所	：茨城県理学療法士会水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号 茨城県保健衛生会館内

2013年12月1日～2014年1月31日届いている学術誌・学会誌：なし

〈地域医療福祉推進部より〉

(公社)茨城県看護協会「まちの保健室」との共同保健活動報告

地域医療福祉推進部長 所圭吾(茨城県理学療法士会)

保健衛生会館での事業は今年度3回目になりました。毎回課題を少しずつ修正し、参加者様への有益な情報の還元と円滑な進行ができるようになってきております。平日午前中の多忙なお時間のご協力、誠にありがとうございました。今後とも、各地区の会員の皆様のご支援・ご協力を今後もよろしくお願いいたします。

●平成25年度第8回(水戸地区)

期日：平成26年2月13日(木) 11:00~12:00

場所：茨城県保健衛生会館 別館

内容：体力測定・リハビリ相談

担当：社会職能局：渡邊勸 氏

水戸地区会員：堅田明靖 氏、芳賀裕己 氏、藤田直樹 氏、吉田和歌子 氏

参加者：シルバーリハビリ体操教室参加者25名

〈まちの保健室事業に参加して〉

芳賀裕己(北水会記念病院)

今回、参加させて頂いた保健衛生会館にて行われている水戸地区のまちの保健室では介護予防体操の後、参加者の血圧や体脂肪などの身体測定や体力測定を実施し、理学療法士会による理学療法・リハビリ相談コーナーを設置して看護協会とともに活動をしています。

私自身、初めて活動に参加させて頂き、参加者の健康や介護予防に対する意識の高さに感心するとともに理学療法士という立場からどうすれば分かりやすく説明、アプローチすることが出来るかということについて改めて考えさせられる良い機会となりました。今後も看護協会と協力してこのような活動を続けることで、継続して参加いただく方の身体状態の変化やフォローアップをより濃密にすることが出来ると思います。また、水戸地区全域のスタッフが参加できれば、より一層関心を高めることができるのではと考えます。今後も多くの会員が所属の枠を超えた横のつながりを持つことで、職場教育や社会貢献の意義を考える良いきっかけになればと思います。

〈その他の事業〉

●茨城県福祉サービス振興会主催研修会講師派遣(茨城県総合福祉会館)

○介護技術・テーマ別研修 「リハビリ的介護のポイントと職業病対策」

派遣：平成26年1月15日(水) 渡邊勸 氏、鈴木和江 氏

〈生涯学習部より〉

生涯学習部長 千葉浩市(つくばセントラル病院)

*平成25年度茨城県訪問リハビリテーション実務者研修会事業報告

日時：平成25年12月14日~12月15日

会場：デュプレックスセミナーホテル

全体参加者数：49名

【参加者内訳】(PT：32名、OT：11名、ST：4名、その他：2名)

・研修会は宿泊施設併設会場で2日間の日程で開催されました。内容としては制度の話から実践編の講義まで設定され、また1日目にはグループワークを初任者テーマと現任者テーマに分けて討論するなど訪問リハ経験の有無を問わず話し合いができるように配慮されていました。2日目には選択講義として医師による「摂食嚥下障害」、「認知症」、「循環器のフィジカルアセスメント」の3つが設定され、受講生が関心のあることを学べるように趣向を凝らした内容となっていました。更に在宅支援に関わるリハ専門職以外からも参加者があり多職種の意見交換ができる場としても有意義なものでした。

〈卒前教育部より〉

卒前教育部 浅野信一（つくばセントラル病院）

お詫び

インフォメーションNO140、p17「2013SV 研修会履修者分布図」にて、土浦医療圏の施設数と人数の誤りがございました。正しくは以下になります。

誤 正

1 施設 1 名 → 2 施設 2 名

詳細はHPに掲載しておりますので、そちらをご覧ください。

〈厚生部より〉

厚生部長 青木葉尚子

慶弔電報の申込について

会員の皆様へ

茨城県士会では、会員の福利厚生の一つとして士会から電報を送ることができます。祝電、結婚祝電、弔電の対応をしています。ぜひご利用ください。

内容：祝電、結婚祝電、弔電

対象：茨城県士会会員（休会中の会員は対象外）

申込方法：別紙申込書に必要事項を入力し、Eメールに添付して申込ください

（申込書は本会ホームページ【手続き】【電報手続き】からダウンロードできます）

申込・問合せ先：keityou@pt-ibaraki.jp

その他、注意事項が記載してありますのでご参照ください。

提出日	平成 年 月 日
-----	----------

祝電申込書(結婚)

茨城県理学療法士会 会長 殿

申請者	氏名	
	会員との関係	
	連絡先電話番号	
	連絡先Eメール	—

下記本会会員の結婚式にあたり祝電申し込みをいたします。

記

会員情報	会員氏名	
	会員番号	
	所属	
	連絡先電話	
	連絡先Eメール	

お届け先 情報	式場名	
	住所	〒
	電話番号	
	受取人名(ふりがな)	
	開式日時	平成 年 月 日 時
	お届け希望日	平成 年 月 日

その他連絡事項	
---------	--

以上

<本会確認欄>

申込完了日 平成 年 月 日

提出日	平成 年 月 日
-----	----------

祝電申込書

茨城県理学療法士会 会長 殿

申請者	氏名	
	連絡先電話番号	
	連絡先Eメール	—

下記のとおり祝電申し込みをいたします。

記

祝電用途	
------	--

お届け先 情報	式場名	
	住所	〒
	電話番号	
	受取人名（ふりがな）	
	開式日時	平成 年 月 日 時
	お届け希望日	平成 年 月 日

その他連絡事項	
---------	--

以上

<本会確認欄>

申込完了日 平成 年 月 日

提出日	平成 年 月 日
-----	----------

弔電申込書

茨城県理学療法士会 会長 殿

申請者	氏名	
	連絡先電話番号	
	連絡先Eメール	—

下記のとおり弔電申し込みをいたします。

記

故人	氏名（ふりがな）	
----	----------	--

故人と関係のある会員	会員氏名	
	所属	
	続柄	

お届け先 情報	斎場名	
	住所	〒
	電話番号	
	喪主（ふりがな）	
	通夜日時	平成 年 月 日 時
	告別式日時	平成 年 月 日 時

その他連絡事項	
---------	--

以上

<本会確認欄>

申込完了日 平成 年 月 日

■注意事項

- ・結婚祝電は挙式日の1週間前までに申し込みをお願いいたします
- ・正会員の死亡に際しては弔電と当該年度の会費を香典としてお送りいたします
- ・正会員の配偶者及び一親等者の死亡に際しては弔電をお送りいたします
- ・休会中の方は対象外となります
- ・上記枠内に必要事項を記入し、Eメールにてお申し込みください
- ・申し込み先：keityou@pt-ibaraki.jp
- ・電報申込手続き完了後、申請者様へご連絡いたします

<個人情報について>

当申込書より得た情報は、電報送信の目的以外には使用しません。

<会長報告>

1. 会長行動・事業等報告（1月1日～2月28日） 下記以外は所属施設および士会事務所にて従事

- | | |
|----------|--|
| 1月 5日 | 訪問リハビリテーションサポートセンター事業（飯島総務部員、天貝整形外科クリニック・ケース会議） |
| 1月 7日 | つくば市介護認定審査会（つくば市役所） |
| 1月 8日 | 賀詞交換会「第64回千鳥会」（水戸プラザホテル） |
| 1月 8日 | リハビリテーション医療関連団体協議会人材育成部会会議（田町CR） |
| 1月10日 | 茨城県医師会新年賀詞交換会（金子副会長代理出席、水戸プラザホテル） |
| 1月10日 | 明日の茨城づくり新春の集い（沼尻副会長代理出席、水戸プラザホテル） |
| 1月10日 | 協会臨時常任理事会・臨時業務執行理事会・総合企画会議（田町CR） |
| 1月11日 | 協会理事勉強会（田町CR） |
| 1月12日 | 回復期リハビリテーション病棟協会第4回PTOTST委員会（回復期リハ病棟協会事務所） |
| 1月13日 | 回復期セラピストマネジャー3期生認定授与式（東京コンファレンスセンター） |
| 1月17日 | チーム医療推進協議会 研修会運営実行委員会（田町CR） |
| 1月18日 | 青森県理学療法士会へ協会事業説明（協会長代理、青森県理学療法士会事務局） |
| 1月21日 | 茨城県立健康プラザ事業検討委員（大曾根副会長代理出席、茨城県立健康プラザ） |
| 1月24日 | 第4回業務執行理事会（士会事務所） |
| 1月24日 | 第3回賛助会員との意見交換会（茨城県保健衛生会館） |
| 1月24日 | 茨城県市長会定例会議 挨拶（飯島総務部員、水戸京成ホテル） |
| 1月26日 | 北茨城市在宅医療・介護連携拠点事業「リハ専門職への研修会」（北茨城市立総合病院） |
| 1月27日 | 北茨城市在宅医療・介護連携拠点事業 広報に関する茨城放送との会議（金子事務局長・高橋広報局長・鈴木会員、士会事務所） |
| 1月28日 | 士会会員キャリア支援（つくば市） |
| 1月29日 | 茨城県町村長会定例会議 挨拶（大曾根副会長・飯島総務部員、水戸京成ホテル） |
| 2月 1日 | 協会常任理事会・第9回業務執行理事会（田町CR） |
| 2月 2日 | 協会第9回理事懇談会（田町CR） |
| 2月 3日 | 第2回茨城県介護予防推進委員会 委員（茨城県立健康プラザ） |
| 2月 4日 | つくば市介護認定審査会（つくば市役所） |
| 2月 5日 | 栃木県理学療法士会へ協会事業説明（協会長代理、自治医科大学付属病院） |
| 2月 6日 | 回復期リハビリテーション病棟協会第5回PTOTST委員会・理事会・4役会（名古屋国際会議場） |
| 2月 7日～8日 | 回復期リハビリテーション病棟協会第23回研究大会シンポジスト（名古屋国際会議場） |

2月 9日	第17回茨城県理学療法士会学会 学会長（茨城県立医療大学）
2月11日	士会研修会「専門領域研修会・生活支援環境」講師（ホテルマークワンつくば）
2月13日	茨城県フットケア研究会世話人会・研修会 世話人（つくば国際会議場）
2月14日	理学療法ジャーナル編集会議（医学書院）
2月15日	第3回生涯学習業務執行委員会会議（田町CR）
2月15日	第79回関東甲信越ブロック協議会士会町会議（鬼怒川温泉ホテル）（中止）
2月16日	第5回業務執行理事会（士会事務所）
2月16日	チーム医療推進協議会 研修会（笹川記念会館）
2月16日	平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業 地域リーダー研修（北茨城市役所）
2月17日	茨城県臨床工学技士会役員との意見交換（大曾根副会長・富田学術・教育局長・黒澤監事、土浦市）
2月18日	日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部総会 議長（筑波大学）
2月18日	つくば市介護認定審査会（つくば市役所）
2月19日	平成25年度茨城県民健康づくり表彰式 来賓（茨城県庁）
2月20日	士会会員キャリア支援（常総市）
2月20日	介護保険制度講習会（茨城県総合福祉会館）
2月21日	平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業 非リハビリテーション専門職研修会（北茨城市役所）
2月22日	日本介護福祉士会20周年記念式典 来賓（協会長代理、東京ビッグサイト）
2月22日	士会臨時業務執行理事会・地域包括ケア推進&診療報酬説明会（茨城県総合福祉会館）
2月22日	3士会役員懇親会（京成百貨店）
2月23日	協会地域包括ケアシステム推進に向けた研修会 座長・講師（AP秋葉原）
2月24日	士会卒前オリエンテーション（高橋庶務部長、つくば国際大学・アール医療福祉専門学校）
2月24日	第一興商との共同事業の打合（水戸市）
2月25日	圏域単位の理学療法士ネットワークに関する説明会 土浦・つくばブロック（筑波メディカルセンター病院）
2月26日	リハビリテーション医療関連団体協議会人材育成部会会議（田町CR）
2月27日	つくば市障害区分認定審査会（つくば市役所）
2月28日	第2回高次脳機能障害者支援システム整備協議会（金子副会長代理出席、県リハセンター）
2月28日	協会運営懇談会（顧問懇談会）（田町CR）

2. 会長としての他団体委員会出席報告（1月1日～2月28日）

1. 第2回茨城県介護予防推進委員会（2月3日、茨城県立健康プラザ）

茨城県の介護予防事業に関する年に数回開催される会議です。委員長は大田仁史氏（茨城県立健康プラザ管理者）です。

2. 日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部常任理事会・総会

本会会長は常任理事となります。毎年総会の数日前に理事会が開催され、総会時に議長となることが多いです。茨城県での全国大会の来年開催が決定しました。

3. 第2回高次脳機能障害者支援システム整備協議会（2月28日、茨城県リハビリテーションセンター）

毎年数回開催される茨城県における高次脳機能障害者支援システム整備に関する会議です。会長は山川百合子氏（茨城県立医療大学）副会長は鈴木邦彦氏（茨城県医師会）です。

3. 士会・協会主催研修会

平成26年度理学療法士講習会基本編 技術
筋力増強運動、骨関節疾患に対する治療手技

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 筋力増強運動、骨関節疾患に対する治療手技
日時（受付開始時間）	2014年4月27日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県立医療大学 運動治療室・物理療法室
講師名	神戸晃男先生（金沢医科大学病院） 板場英行先生（日本理学療法士協会）
受講費	10000円（日本理学療法士協会会員3000円）
定員	40名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2014年4月から開始予定
申込方法	日本理学療法士協会会員は「日本理学療法士協会」HPのマイページより事前申し込みしてください。 上記会員外の方は「茨城県理学療法士会」HPより該当研修会のFAX用紙にて事前申し込みしてください。
認定ポイント	認定・専門に関わるポイント：20ポイント（運動器理学療法） 新人教育プログラム読替：C-2 運動器疾患の理学療法
問合せ先	（公社）茨城県理学療法士会事務所 河野 （E-Mail：s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

8：20-	受付開始
9：00-10：30	講義1 筋力増強運動に関する基礎理論（講義） 講 師 神戸晃男先生（金沢医科大学病院）
10：40-12：10	講義2 筋力増強運動の基本的な手技、実技 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
12：10-13：00	昼休み
13：00-14：30	講義3 運動可動筋に対する筋力増強運動の実際 実技 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
14：40-16：10	講義4 安定作用筋に対する筋力増強運動の実際 実技 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）

平成26年度理学療法士講習会基本編 技術
 関節可動治療の基本「運動器系疾患に対する関節可動治療手技」

学会・研修会名	日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 関節可動治療の基本「運動器系疾患に対する関節可動治療手技」 -下肢の関節系・筋系障害に起因する治療を中心に-
日時（受付開始時間）	2014年6月15日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県立医療大学 運動治療室・物理療法室
講師名	板場英行先生（日本理学療法士協会）
受講費	10000円（日本理学療法士協会会員3000円）
定員	40名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2014年4月から開始予定
申込方法	日本理学療法士協会会員は「日本理学療法士協会」HPのマイページより事前申し込みしてください。 上記会員外の方は「茨城県理学療法士会」HPより該当研修会のFAX用紙にて事前申し込みしてください。
認定ポイント	認定・専門に関わるポイント：20ポイント（運動器理学療法） 新人教育プログラム読替：C-2 運動器疾患の理学療法
問合せ先	（公社）茨城県理学療法士会事務所 河野 （E-Mail：s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

8：20-	受付開始
9：00-10：30	講義1（講義） 講師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
10：40-12：10	講義2 実技（1） 講師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
12：10-13：00	昼休み
13：00-14：30	講義3 実技（2） 講師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
14：40-16：10	講義4 実技（3） 講師 板場英行先生（日本理学療法士協会）

平成26年度理学療法士講習会基本編 技術
 関節可動治療の基本「運動器系疾患に対する関節可動治療手技」

学会・研修会名	公益社団法人 日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会（基本編） 「関節可動域上肢」
日時（受付開始時間）	2014年7月13日（日）（受付開始8時20分～）
場所・会場	茨城県立医療大学 運動治療室・物理療法室
講師名	板場英行先生（日本理学療法士協会）
受講費	10000円（日本理学療法士協会会員3000円）
定員	40名（申込み多数の場合は先着）
申込期間	2014年4月から開始予定
申込方法	日本理学療法士協会会員は「日本理学療法士協会」HPのマイページより事前申し込みしてください。 上記会員外の方は「茨城県理学療法士会」HPより該当研修会のFAX用紙にて事前申し込みしてください。
認定ポイント	認定・専門に関わるポイント：20ポイント（運動器理学療法） 新人教育プログラム読替：C-2 運動器疾患の理学療法
問合せ先	（公社）茨城県理学療法士会事務所 河野 （E-Mail：s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp）
その他	<u>受講には事前申込みが必要となります。</u>

スケジュール（予定）

8：20-	受付開始
9：00-10：30	講義1（講義） 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
10：40-12：10	講義2 実技（1） 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
12：10-13：00	昼休み
13：00-14：30	講義3 実技（2） 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）
14：40-16：10	講義4 実技（3） 講 師 板場英行先生（日本理学療法士協会）

4. 各種研修会等案内

第18回 茨城県北西部地域リハビリテーション研究会

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第18回茨城県北西部地域リハビリテーション研究会を下記のとおり開催いたします。

今回は特別講演といたしまして、公益社団法人 茨城県理学療法士会 会長 斉藤 秀之先生をお招きいたしまして、地域包括ケアシステムにおけるリハビリ職種の役割と他職種との連携について、ご講演をいただきます。

また、一般講演といたしまして、当該保健医療圏の地域リハ・ステーションによる症例等の発表を行います。

地域リハビリテーションの発展と向上を目的に充実した内容の企画となっておりますので、お誘い合わせの上、リハビリテーションに関係する多くの皆様方にご参加いただけますようご案内申し上げます。

尚、会場準備の都合上、ご参加人数を事前に下記申込書にてお知らせいただけますようお願い申し上げます。

敬具

日時：平成26年3月22日（土）14：00～16：40

会場：ワークプラザ勝田 多目的ホール

ひたちなか市大字東石川 1279 TEL 029-275-8000

内容：

◆一般演題（14：10～14：45）

●(株)日立製作所ひたちなか総合病院 ●西山堂慶和病院 ●志村大宮病院

◆特別講演（14：55～16：35）

演題：「地域包括ケアシステムにおけるリハビリ職種の役割と他職種との連携」

講師：公益社団法人 茨城県理学療法士会 会長 斉藤秀之 先生

◆参加費：無料（どなたでもご自由にご参加いただけます。）

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム：「C-5 地域リハビリテーション」

申し込み方法：下記にご記入の上、電話又はFAXにてお申込みください。

会場準備の都合上、ご参加人数を事前にお申し込みいただきますようお願い申し上げます

※当日参加も可能です。

貴団体名：

ご連絡先：

参加者氏名（職種）

<お問い合わせ先（連絡先）>

(株)日立製作所ひたちなか総合病院 事務局

TEL・FAX：029-354-6291（受付時間：月曜～土曜 9：00～17：00）

稲敷医師会学術講演会

日時：2014年3月25日（火）19：00～20：30

場所：江戸崎公民館

〒300-0509 稲敷市江戸崎 2148-2 電話：029-892-4110

講演：19：00～19：30

『パーキンソン病治療薬 ニュープロパッチ』

演者：大塚製薬(株) 学術応用開発課 石塚真弓

特別講演：19：30～20：30

『パーキンソン病の診断と治療～貼付剤がもたらすベネフィット～（仮）』

演者：東京医科大学茨城医療センター 神経内科 教授・副院長 山崎薫先生

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム「C-5 地域リハビリテーション」

※軽食をご用意しております。

※当日は、ご参加の確認のため、ご施設名、ご芳名の記帳をお願い申し上げます。なお、ご記帳頂きました個人情報、本講演会の出席者の確認及び次回のご案内の為に主催関係者のみで使用し、その他第三者に提供する事はありません。

管理先：〒300-0847 茨城県土浦市卸町 1-1-1 関鉄つくばビル 4 階

大塚製薬つくば出張所 TEL:029-841-5192

BiNI COMPLEX JAPAN による、バイニーアプローチセミナーGATE1

A.統合的運動生成概念とその理解に必要なバイオメカニクス・運動器連結

2014年4月12日（土）14:00～17:30 / 13日（日）9:30～17:30

B.統合的運動生成概念とその理解に必要な神経システム・左右特異性

2014年6月14日（土）14:00～17:30 / 15日（日）9:30～17:30

※A.B.コースともに、両日の参加が必要です

※会場は、なめがた地域総合病院となります

BiNI COMPLEX JAPAN Seminar Department

詳しくはホームページまで！ <http://www.bini-approach.com/>

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2014 茨城

日時：平成 26 年 5 月 17 日（土）12：00 受付開始～18 日（日）11：30 終了予定

会場：研究学園駅前講演（茨城県つくば市葛城根崎 160 番地 2）

URL：<http://relayforlife.jp/ibaraki/>

※詳細は web をご参照下さい

宮本病院 PNF 概念に基づいたリハビリテーション勉強会 2014

PNF 概念を中心にした勉強会ですが、PNF 概念を全く知らない方でも結構です。OT も大歓迎です。国際 PNF 協会 (IPNFA) 認定インストラクターがわかりやすく説明します。オープンな勉強会なので興味本位でのぞいてみてください。みんなで知識と技術を分け合しましょう。

2014 年は基本に戻ってテクニックとパターンの練習に主眼を置いてみます。マニュアルコンタクトとボディメカニクスの意味を確認しながらワークショップ、デモ等を入れて、できるだけ臨床に持って帰れる内容を扱っていかうと考えています。

興味のある方の参加をお待ちしています。一回ずつ完結しますので、必ず事前に希望する月をはっきりと明記して申し込んでください。申し込み確認後、資料をメールで送付します。

申込先：e-mail のみ miyamoto-hp-10@amail.plala.or.jp

宮本病院リハビリテーション科 機能訓練室長

IPNFA ベーシックコースインストラクター 石井篤
定員：最大 20 名(申し込み先着順)
受講料：各回 2,500 円

日程：各回とも日曜 9 時～16 時

1 月 26 日	体幹	2 月 23 日	体幹	3 月 30 日	下肢
4 月 27 日	下肢	5 月 25 日	上肢	6 月 29 日	上肢
7 月 27 日	歩行	8 月 31 日	歩行	9 月 28 日	床上動作
10 月 26 日	床上動作	11 月 30 日	まとめ	12 月 14 日	まとめ

I PNFA(国際PNF協会)認定基礎コース(レベル I、II)

期日：

レベル I：2014 年 5 月 14 日～5 月 18 日

レベル II：2014 年 7 月 16 日～7 月 20 日

レベル I：2014 年 9 月 17 日～9 月 21 日

レベル II：2014 年 10 月 18 日～10 月 22 日

レベル I：2014 年 11 月 22 日～11 月 26 日

レベル II：2015 年 1 月 21 日～1 月 25 日

会場：医療法人盡誠会宮本病院

講師：IPNFA ベーシックコースインストラクター 石井篤

対象：PT、OT、医師

定員：10 名

受講費：90,000 円

申し込み先：メールのみ、atsushi_bari@yahoo.co.jp

宮本病院 石井篤

注；レベル I、II で基礎コースを修了になりますので、別々には申し込みません。ご注意ください。

宿泊を希望される方には後日成田空港周辺のビジネスホテルをご紹介します。また、公共交通機関が少ないので、電車で来院される方は送迎します。

第 18 回日本健康福祉政策学会学術大会

笑おうよ！語ろうよ！そして踏み出そう！

～みんなの声を地域づくりに～

日時：平成 26 年 11 月 22 日（土）～23 日（日）

会場：茨城県立医療大学 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2

（最寄駅：常磐線荒川沖駅からタクシーで 15 分、土浦駅からバスで 20 分）

※プログラムやシンポジウムの内容等は、平成 26 年 4 月以降の、日本健康福祉政策学会ホームページもしくはニュースレターに掲載予定です。

本会生涯学習システムに関する認定事項：新人教育プログラム「C-5 地域リハビリテーション」

第 18 回学術大会大会長：山口忍

事務局：茨城県立医療大学保健医療学部看護学科地域看護学領域

TEL:029-840-2222（助教室 8）／029 - 888 - 4000（医療大学代表）

FAX:029 - 840 - 2322 / E-mail : kenkouhukushi-ibaraki@ipu.ac.jp

5. 求人広告

医療法人 光明会 山本整形外科 理学療法士（正社員）募集

TEL：029-241-2020 担当者：荒川

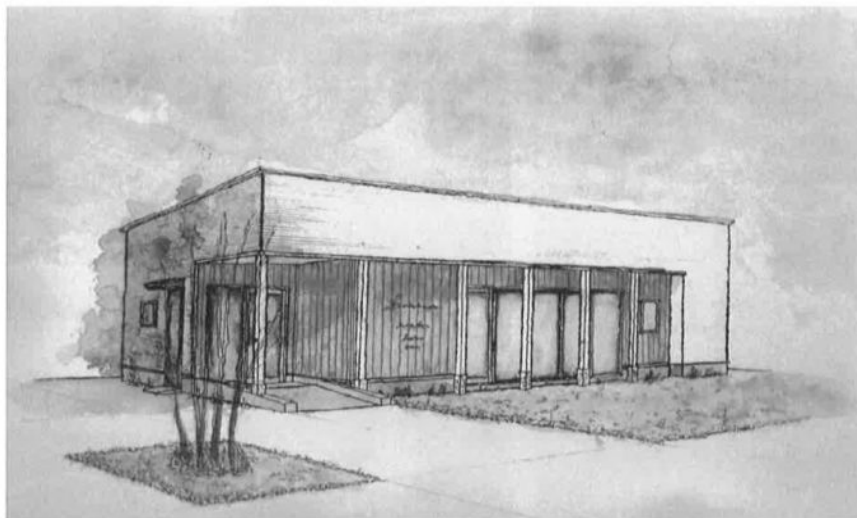
月給：210000～310000

時間：9：00～18：00（月・火・水・金） 9：00～13：00（木・土）

休日：日、祝、他

交通費支給 資格・技能手当 皆勤手当

4月完成のデイケアセンターに勤務していただきます。短時間リハ1から2時間です。入浴、食事の介助などはありません。なお、当院、外来患者さんの機能訓練も担っていただきます。オープニングスタッフとしてみんなで新しいデイケアを立ち上げていきましょう。上記番号まで、ご連絡下さい。



引き続き急募！！
茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター
有償ボランティア募集

北茨城市在住・出身の方大歓迎！

茨城県理学療法士会 齊藤秀之

今までに7名の応募をいただき有難うございました。

今後在宅での療養者が増加することが予測されており、自立した生活を支援する訪問リハビリテーションサービスの必要性が望まれています。他の居宅サービスと比べて事業所は圧倒的に少なく、地域格差も大であります。また様々な在宅でのリハニーズに対する相談機能も現状では十分とは言えません。そのため、北茨城市での訪問理学療法ステーションの実現に向けて北茨城市、北茨城市立総合病院のご理解のもと、北茨城市立総合病院敷地内に「**茨城県理学療法士会北茨城地域自立支援センター**」を開設し、平日午後に理学療法士が1名専従で常駐しています。

これは、公益社団法人日本理学療法士協会が提唱している「地域自立支援センター」のモデル事業として日本で最初の展開です。まずは、北茨城市の住民や関係機関が共同利用できる、①関連会議への参加、センターでの相談・調整活動、②関係施設に出向いての健康支援・介護・障害予防活動、③協力病院と協力して家屋に出向く訪問リハビリテーションなどを主な活動と考えています。

このような取り組みを成功するためには、専従理学療法士のみでは対応が難しくなることは予測できます。北茨城市でのモデルを県内全市町村で実現するためにも、リハ関連3団体の会員の力を今こそ結集して頂きたいと思っています。

また、本年度は茨城県より平成25年度茨城県在宅医療・介護連携拠点事業の9実施団体の1つとして本会が事業を北茨城市で展開することになりました。この事業としても週1日程度活動して頂ける方を4名程度必要です。現時点で、十分な応募がありませんので、ボランティアも引き続き募集致します。下記水戸事務所までご連絡ください。

実施期間は平成25年度で、申し込み締め切りは平成26年3月31日(金)とします。応募頂いた際には、時期を見てご説明をさせていただきますが、原則として1日及び半日単位のボランティアをお願いする予定です。多くの方のご応募をお待ちしております。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

<お問い合わせ・申し込み>

公益社団法人茨城県理学療法士会 水戸事務所 〒310-0034 茨城県水戸市緑町3-5-35
茨城県保健衛生会館 1階 TEL：029-353-8474 FAX：029-353-8475

6. 賛助会員広告

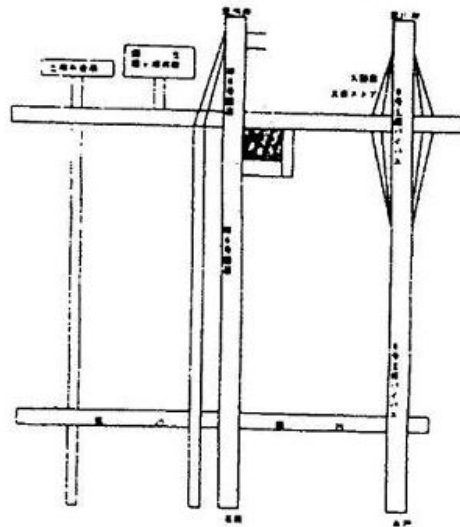
医療機器. 病棟備品. 福祉・介護用品

メイセイ
有限会社 明星メディカルサプライ

〒300-0812 土浦市下高津3-4-8

TEL (0298) **26-1371**

FAX (0298) **26-1372**



患者さんの
Quality of Life の向上が
テイジンの理念です。

TEIJIN
Human Chemistry, Human Solutions

帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD(XX)A5X(TB)1201

コルセット・義肢・義足・補装具・車椅子・松葉杖 製作

有限会社 宮田製作所

〒185-0023 東京都国分寺市西元町3-15-4

TEL 042 (321) 0684 FAX 042 (321) 0692

シルバーマーク認定業者

福祉用具販売・レンタル・住宅改修

株式会社 ロングライフ

本社 〒311-4164 茨城県水戸市谷津町細田 1-8
TEL 029-257-2345 / FAX 029-257-2567

那珂営業所 〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 5487-4
TEL 029-295-7843 / FAX 029-295-0739

土浦営業所 〒300-0872 茨城県土浦市沖新田 40-5
TEL 029-841-2422 / FAX 029-841-4404





結城営業所 〒307-0015 茨城県結城市鹿窪向原 1305-20
TEL 0296-34-1033 / FAX 0296-34-1034

テクノブレイス株式会社

T E C H N O B R A C E



☆取扱品目☆

-  整形外科治療装具
-  整形靴・特殊靴
-  リハビリテーション装具
-  義手・義足

一人一人に合わせて製作します。どうぞご要望をお聞かせください。

連絡先

〒347-0063 埼玉県加須市久下1696-1

TEL 0480(66)1033 FAX 0480(65)0070

E-mail info@technobrace.com

介護予防支援車 さぼっと による 巡回型介護予防 アクティブスマイルプラン



巡回型だからいつでも何処でも充実した設備で
介護予防教室の開催が可能です



筋・レマシンの持ち運びを可能にした介護予防支援車”さぼっと”

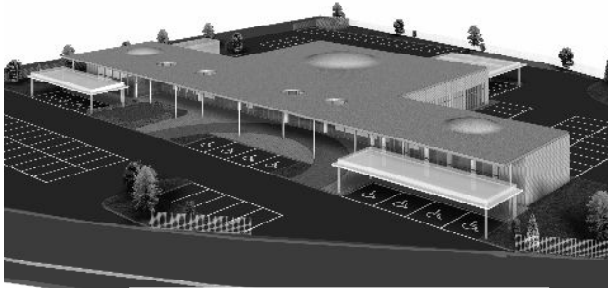
デベロ
(株)

本社 ☎ 310-0841 茨城県水戸市酒門町1744-2 ☎ 029-247-2211 大阪支店 ☎ 540-0004 大阪市中央区玉造2-3-17 アルマ・ヒル301 ☎ 06-6945-1722

<http://www.develo-group.co.jp/>



株式会社 幸和義肢研究所



TX 万博記念公園駅より車で3分

◆ 取扱品目 ◆

義肢・装具・座位保持装置・車いす・補聴器
コンフォートシューズ・福祉用具レンタル

<http://www.kowagishi.com> info@kowagishi.com
茨城県つくば市大白裕 341-1
TEL 029(875)7627 FAX 029(875)7628

介護用品・福祉機器 販売・レンタル
有限会社 ヨシフク

茨城県水戸市酒門町 1437-3

TEL 029-248-5307 FAX 029-248-0086

*介護保険指定福祉用具貸与事業所
*住宅リフォームも併せてお気軽にご相談下さい



快適介護のお手伝い

◎福祉用具レンタル・販売 ◎住宅改修 ◎ストーマ器具
明るく清潔なショールームでゆっくりとご相談ください

本社ショールーム

〒315-0033 石岡市東光台4-9-3

TEL (0299)28-1829

FAX (0299)26-8001

●営業時間/AM9:00~PM5:00

●定休日/土曜日・日曜日・祝日

介護ショップ ひまわり

〒309-1705 笠間市東平2-1470-677

TEL (0296)78-0128

FAX (0296)77-0477

●営業時間/AM9:00~PM5:00

●定休日/日曜日・祝日



介護保険指定事業所番号 第0870500022 〒315-0033 石岡市東光台4-9-3

株式会社 茨城福祉サービス

TEL (0299) 28-1829

FAX (0299) 26-8001

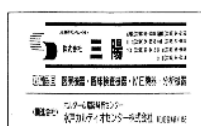


TOUA-PO

株式会社 東亜義肢

〒311-0062 埼玉県さいたま市西区土屋 515 TEL 048(622)6200 FAX 048(622)6662

HP <http://www.toua-po.com/> e-mail info@toua-po.com



人と職場のベストソリューション

株式会社

三陽

水戸(029)243-1281

福島本社(0245)34-3155

いわき (0246)27-7631

郡山 (0249)59-3662

会津 (0242)24-5211

取扱品目 医療機器・臨床検査機器・ME 機器・分析機器

〈関連会社〉 ホルター心電図解析センター
水戸カルディオセンター株式会社

TEL029(241)1155

医療法人社団青潤会 青柳病院

内科・外科・消化器科・循環器科・整形外科・等

〒310-0817 茨城県水戸市柳町2-10-11

TEL 029-231-2341

FAX 029-231-2350

URL www.aoyagi-hsp.com/

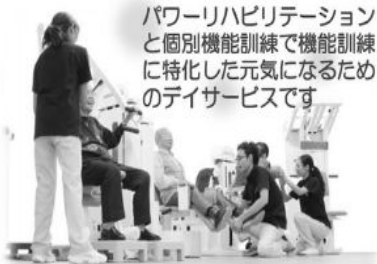


自立支援型デイサービスセンター 楽フィット

【名称】 デイサービスセンター楽フィット筑西 【住所】 茨城県筑西市蔵317-1

【TEL】 0296-25-2770 【営業】 月曜～金曜 【定員】 20名 【開設】 平成24年12月

セキショウグループが運営する「デイサービスセンター楽フィット筑西」は、運動を通して、身体も心も元気になっていただくことを目指しています。機能訓練に特化したフィットネスクラブのような明るく清潔な空間で、いつもご利用者様とスタッフの笑顔があふれる、とても活気のある雰囲気の特徴です。



パワーリハビリテーション
と個別機能訓練で機能訓練
に特化した元気になるための
デイサービスです




高齢者施設のイメージを払拭するような明るいトレーニングルームと、ゆったりと寛ぐための空間が明確に分かれており、運動後は、カフェにいるような気分で仲間と楽しくお話しをしながら過ごせます。

若いスタッフが活躍している
明るく元気な職場です！
雰囲気の良いさとチームワーク
はどこにも負けません!!



理学療法士を募集しています！

詳細はお気軽に下記まで
お問い合わせ下さい。

【運営会社】  SEKISHO

株式会社セキショウライフサポート

TEL.0296-25-3220

担当：中島まで

会員管理・異動に関するお問い合わせは…

⇒水戸済生会総合病院 リハビリテーション科 高橋千晶
kkanri@pt-ibaraki.jp

会費に関するお問い合わせは…

⇒茨城西南医療センター病院 リハビリテーション部 中山陽介
kaihi08@pt-ibaraki.jp

新人教育プログラムに関するお問い合わせは…

⇒つくばセントラル病院 リハビリテーション部 千葉浩市
s-gakusyuu@pt-ibaraki.jp

広報紙に関するお問い合わせは…

⇒いちほら病院 リハビリテーション部 森田英隆
kouhou@pt-ibaraki.jp

編集後記

先日、喉頭癌の治療で声を失った教師の話聞く機会があった。

当時の治療では、生存率の低い放射線治療か、声を失うが生存率の高い手術という選択肢しかなかった。その教師は、教師の命である声を守ろうとしたが、涙する娘に「どんなかたちでもいいから生きていて」と言われ、命の意味を考え直し後者を選択した。

現在は補声器を使い教壇に立つ。主に道徳の授業を自身の体験をもとに、生徒や保護者、他の教師に対して『命は他の命を支える事で強くなる』ことを伝えているとのこと。美談となりがちだが、その道程は辛いものだったはず。

私たちは臨床を通じて患者様の命や人生と常に向き合います。慣れることでその大切さや重さを忘れないようにしたいと感じました。

4月より新入職員を迎える職場も多いはず。新入職員だけでなく私たちも道徳や倫理の面でブラッシュアップしたいものです。

(会報編集部)

会員数：1652名

発行日：平成26年2月28日

発行人：公益社団法人 茨城県理学療法士会

代表者：齊藤秀之

編集者：森田英隆

事務局：〒310-0034 茨城県水戸市緑町3丁目5番35号

茨城県保健衛生会館内

茨城県理学療法士会事務所

TEL 029-353-8474

FAX 029-353-8475

E-mail toiwases@pt-ibaraki.jp